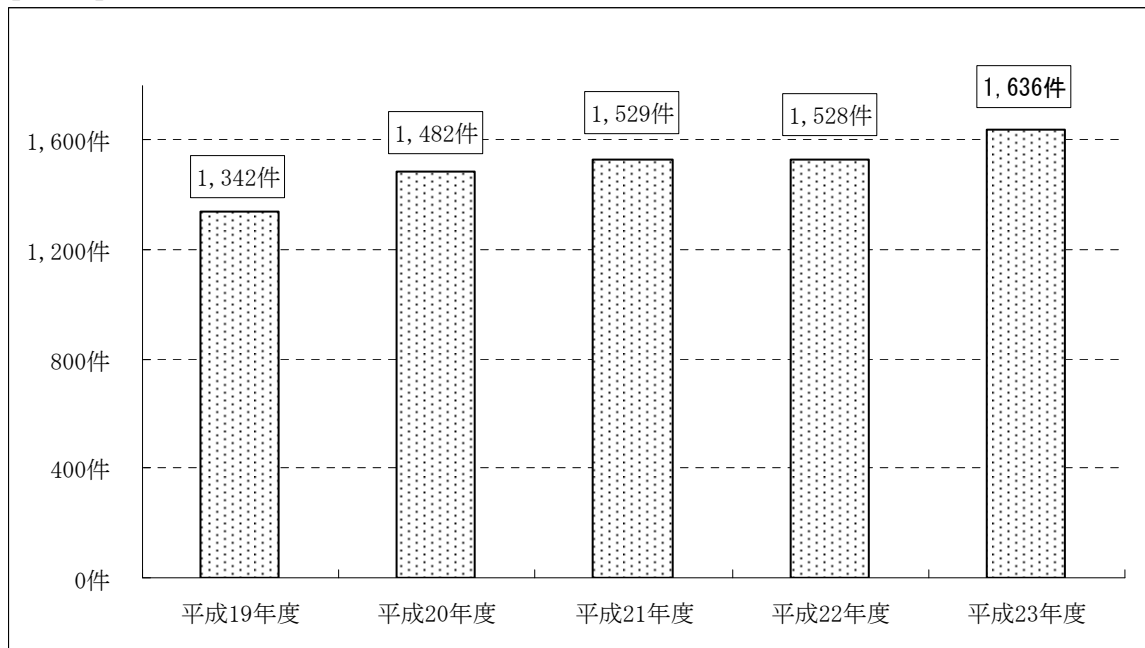


#### (4) 「危害」に関する相談

① 「危害」に関する相談は過去5年間で見ると増加傾向にある。平成23年度は1,636件の相談が寄せられ、前年度に比べ7.1%の増加であった。(図-8)

※ 危害：商品・役務・設備等に関連して、身体にけが、病気等の疾病（危害）を受けたという相談

【図-8】「危害」に関する相談件数の推移



PIO-NET2010による平成24年5月31日現在の集計値

② 「危害」の原因となった商品・役務では、化粧石鹸による皮膚障害などの「化粧品」に関する相談の増加が目立つ。また、「医療」「理美容」など美容や美容医療に関するものが多い。(表-7)

- 「化粧品」のうち、「化粧石鹸」の相談は166件寄せられ、前年度（6件）に比べ約27.7倍となった。

【表-7】「危害」に関する相談の商品・役務項目 上位5位（平成23年度）

(単位：件)

	商品・役務項目	23年度	22年度	対前年度比	主な危害内容
1	化粧品	274	86	318.6%	化粧石鹸や化粧品などによる皮膚障害等
2	医療	216	254	85.0%	美容医療や施術などによる、皮膚障害、熱傷、擦過傷・挫傷・打撲傷等
3	理美容	184	168	109.5%	エステティックサービスなどによる、皮膚障害、熱傷等
4	外食・食事宅配	76	83	91.6%	外食などによる、消化器障害、熱傷等
5	健康食品	70	49	142.9%	ダイエット食品やサプリメントなど健康食品による、皮膚障害、消化器障害等

PIO-NET2010による平成24年5月31日現在の集計値